

パネル説明



- | | | |
|--------------------|----------------|---------------------|
| 1. 電源スイッチ | 7. 数字キー | 13. マスタースレーブ制御用コネクタ |
| 2. LCDディスプレイ | 8. ロータリノブと矢印キー | 14. 通信インターフェース用スロット |
| 3. Functionキー | 9. DC入力端子 | 15. ヒューズ |
| 4. Auto sequenceキー | 10. V sense端子 | 16. AC電源入力端子 |
| 5. Memoryキー | 11. 電流モニター端子 | |
| 6. Test Settingキー | 12. アナログ電圧入力端子 | |

軽量コンパクト設計

優れた放熱構造により、リア方式で非常にコンパクトなDC電子負荷装置です。



マスタースレーブ並列動作による大容量化

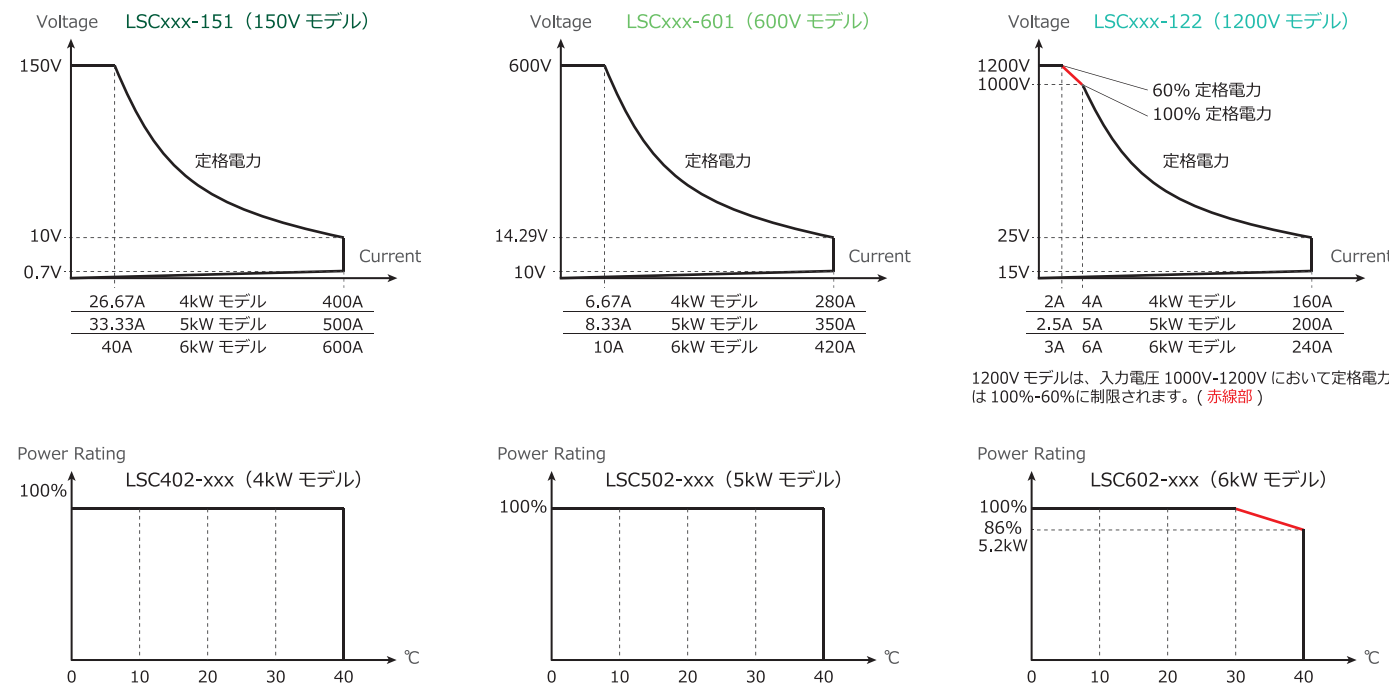
LSCシリーズのマスタースレーブは、同一モデルを最大8台並列接続が可能です。6kWモデルを8台接続した場合、最大48kWの大電力放電が可能になります。



LSC602-151 を 8 台並列動作:	48kW/150V/4800A
LSC602-601 を 8 台並列動作:	48kW/600V/3360A
LSC602-122 を 8 台並列動作:	48kW/1200V/1920A

※LSCシリーズをマスタースレーブ並列動作させた場合、StaticモードでCC,CR,CV,CPモードのみの操作になります。

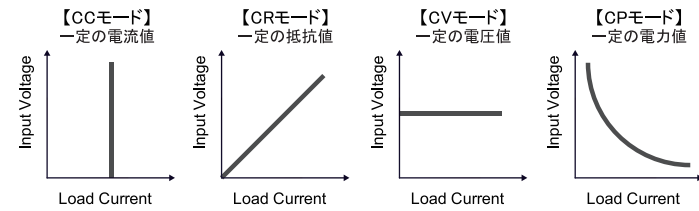
入力動作範囲



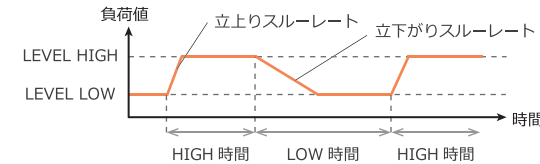
※LSCシリーズを赤線領域を超えて使用した場合、本機の制限機能は動作しません。赤線領域内でご使用ください。

電圧源電流源評価での使用

Staticモードは、定電流(CC),定抵抗(CR),定電圧(CV),定電力(CP)の4種類の放電モードで電圧または電流源の静的評価ができます。



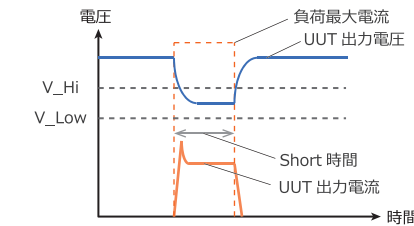
Dynamicモードは、CC, CR, CPモードで使用できます。LEVEL HIGHとLOWの設定値を設定時間で交互に繰り返します。CCモードでは、立上りと下りのスルーレートも設定できます。



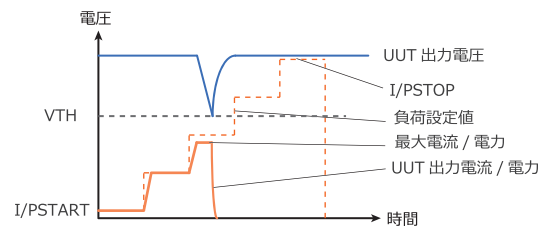
保護機能評価での使用

UUT出力保護機能テスト

Shortテスト: ターボモード可能
UUTの短絡保護動作を確認するために、負荷最大電流を流す様に動作します。UUT短絡保護動作にてUUT出力電圧が、V_HiとV_Lo間にある事を確認する試験です。

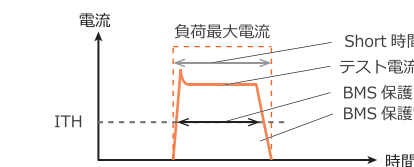


OCP/OPPテスト: ターボモード可能
UUTの過電流/過電力保護動作を確認するために、段階的に負荷電流/電力を増加させます。UUTの過電流/電力保護が、下限電圧のしきい値(VTH)以上で動作する事を確認する試験です。最大電流/電力が測定されます。

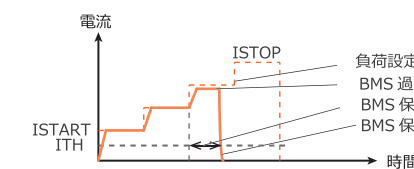


BMS回路保護機能テスト

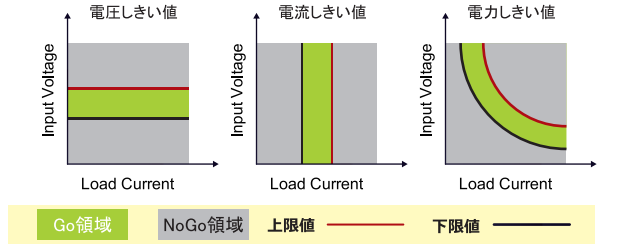
BMS Shortテスト: ターボモード可能
BMS回路の短絡保護動作をテストするために、LSCシリーズは負荷最大電流を流す様に動作します。テスト電流と保護時間を測定します。



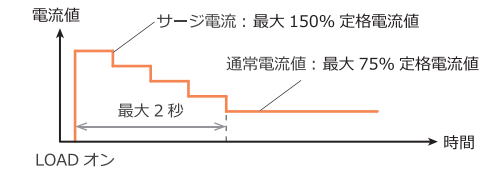
BMS OCPテスト: ターボモード可能
BMS回路のOCCP動作テストとOCDP動作テストをするために、LSCシリーズは階段状に電流を流す動作をします。過電流と保護時間を測定します。



電圧,電流,電力の上限と下限のしきい値を設定し、読み取った値がしきい値のGo/NoGo領域にあるかどうかを判定する機能があります。

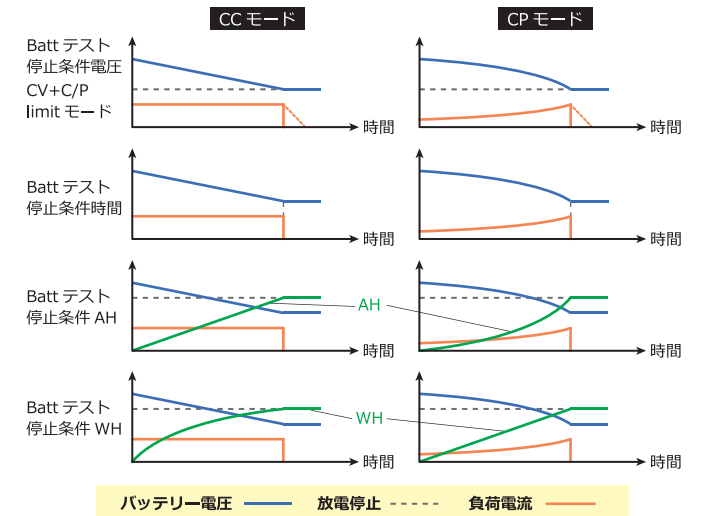


サージテストは、LOADオン時にCCモードでのサージ電流を流し、通常電流値まで階段状に電流値を減少させる動作をします。モーター等の始動電流を再現出来ます。



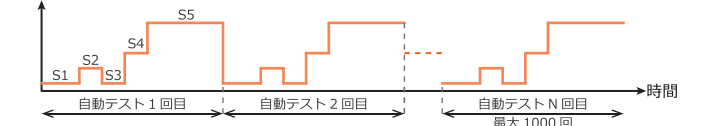
バッテリー評価での使用

バッテリー放電試験は、BattテストとCV+C/P limitモードが使用できます。どちらの使用も、CCまたはCPモードでの放電になります。Battテストは、4種類の放電停止条件(電圧,時間,AH,WH)が設定でき、バッテリー放電のAHとWHを測定できます。CV+C/P limitモードは、バッテリー電圧がCV設定値以上でCCまたはCP放電を行います。バッテリー電圧がCV設定値になると、バッテリー電圧をCV設定値に保ち、負荷電流は徐々に減少します。



繰り返しテストでの使用

AUTO Sequence機能は、最大9種類の自動テストを作成できます。1つの自動テストは最大16のステップ(S1-S16)を設定でき、最大10000回繰り返し実行が可能です。各ステップには、負荷設定状態が保存された内部メモリ番号(1-150)とステップ実行時間を設定します。



SEQUENCE LOADテストは、REMORT操作専用機能で、CCまたはCPモードで使用出来ます。本テストは、DUTの出力電圧が任意の電圧しきい値(VTH)以下になるか、Stopコマンドで停止するまで設定ステップ(S0-S15,数:2-16)を繰り返して試験を実行します。設定ステップには、CCまたはCPの負荷値と時間を設定します。

